

枚方公済病院 腫瘍内科のご紹介

腫瘍内科は、特定の臓器に限定せず、がん全般を対象に薬物療法を専門とする診療科です。がんの発生部位ではなく、がんの生物学的特性や遺伝学的情報に基づいた治療を行う点を特徴とし、臓器横断的な診療を行っています。他院からの治療依頼の紹介、院内各科からの治療開始・継続および治療方針に関する相談、ならびにセカンドオピニオンを目的とした受診を対象としています。また、悪性腫瘍が疑われるものの原発臓器が特定できない症例に対しても、関連各科と連携しながら精査を行い、治療方針の決定を行っています。近年、診断時点からの緩和ケア介入の重要性が指摘されており、当院では緩和ケアチームを結成し、入院・外来を問わず、腫瘍内科として緩和ケアにも積極的に関与しています。

診療実績 (2025年1月～12月)

肺癌	12例 (緩和的化学療法、緩和ケア)	※呼吸器内科 / 呼吸器外科と連携
乳癌	7例 (周術期化学療法、緩和的化学療法)	※乳腺外科と連携
原発不明がん	2例 (緩和的化学療法)	
頭頸部癌	1例 (緩和的化学療法)	
婦人科癌	2例 (緩和ケア)	
消化器癌	多数例	※消化器内科 / 外科・京都大学病院・関西医科大学病院と連携

がん診療でお困りの場合は遠慮なく腫瘍内科外来に御紹介下さい!!

高齢者や腎不全(維持透析を含む)、心不全などの併存疾患を有する患者さんに対しても、関連各科と連携した集学的管理のもと、個々の全身状態、治療耐容性、患者背景を踏まえた抗がん薬治療を行っています。

当院は救急患者を24時間365日体制で受け入れており、外来化学療法中の有害事象や、緩和ケア中の症状増悪に対しても迅速な救急対応が可能です。必要に応じて速やかな入院加療を行うなど、治療を支えるバックアップ体制を整えています。

化学療法導入の是非に判断を要する症例や、治療目標の設定に迷う症例についても、緩和ケアと並行した介入を行いながら治療方針を検討しています。

「化学療法を行うべきか迷っている」段階でのご相談や、今後の方向性整理を目的としたご紹介も積極的にお受けしています。さらに、外来での緩和ケア介入に加え、療養先の調整や今後の療養環境を含めた支援についても対応しています。

腫瘍内科科長
尾崎 由直 (おざき よしなお)



地域医療連携室 (072)808-0010

(月火金) 8:30-20:00、
(水木) 8:30-17:15、(土) 9:00-13:00

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233